

平成 21・22 年度 土木学会複合構造委員会 第 6 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 22 年 5 月 19 日（水）14:00～17:00
2. 場 所：北海道大学 工学部 A102 会議室
3. 出席者：横田委員長，杉浦副委員長，古市幹事長，斉藤幹事，田中幹事，西崎幹事，溝江幹事，山口幹事，渡辺幹事
岡田事務局
（欠席者：池田幹事，大垣幹事，大山幹事，島幹事，武知幹事，本間幹事）
4. 配布資料
 - 資料 幹 6-1 平成 21・22 年度 第 5 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
 - 資料 幹 6-2-1 幹事会スケジュール案
 - 資料 幹 6-2-2 複合構造委員会組織図
 - 資料 幹 6-2-3 幹事会作業分担（案）
 - 資料 幹 6-3 平成 21・22 年度 委員会名簿
 - 資料 幹 6-4-1 平成 21 年度予算執行状況
 - 資料 幹 6-4-2 平成 22 年度委員会予算（案）
 - 資料 幹 6-4-3 複合構造_調査研究拡充支援金の配分
 - 資料 幹 6-4-4 S-01 調査研究拡充支援金の部門内での配分
 - 資料 幹 6-4-5 S-02 複合構造_委員会別行事収支一覧
 - 資料 幹 6-5-1 2009 年度委員会自己評価
 - 資料 幹 6-5-2 H21 複合構造 評価Ⅰ・Ⅱ
 - 資料 幹 6-5-3 H20 複合構造 評価Ⅰ・Ⅱ
 - 資料 幹 6-5-4 委員会活動度評価に基づく予算配分
 - 資料 幹 6-6-1 研究討論会 2010 関連資料
 - 資料 幹 6-6-2 CS2 セッション案
 - 資料 幹 6-7 出版物の査読方法(案)
 - 資料 幹 6-8 出版関係
 - 資料 幹 6-9-0 小委員一覧
 - 資料 幹 6-9-1 H101 示方書委員会
 - 資料 幹 6-9-2 H203 維持管理小委員会
 - 資料 幹 6-9-3 H102FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会
 - 資料 幹 6-9-4 H103 複合構造の理論と設計作成小委員会
 - 資料 幹 6-9-5 H206 ずれ止め小委員会
 - 資料 幹 6-9-6 H207 樹脂材料による複合技術研究小委員会
 - 資料 幹 6-9-7 H208FRP 複合構造小委員会
 - 資料 幹 6-9-8 H209FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会
 - 資料 幹 6-10 平成 21・22 年度 第 3 回複合構造委員会式次第
 - 資料 幹 6-11-1-1 土木学会論文集(分冊内容)
 - 資料 幹 6-11-1-2 土木学会論文集(キーワード)
 - 資料 幹 6-11-2 旅費取扱いの変更
 - 資料 幹 6-11-3 土木学会役員・委員等国内出張旅費内規

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり、横田委員長より挨拶があった。

なお、6月1日より、事務局が岡田さんから竹原さんに交代することが報告された。

(2) 第5回幹事会議事録確認（資料 幹6-1）

溝江幹事より、前回幹事会議事録案が紹介され、以下の修正を行うことで承認された。

・5 議事内容 (16)その他 「同じ分野をカバーするように」→「同じ分野をカバーするような方を」

(3) 平成21・22年度複合構造委員会・幹事会体制について（資料 幹6-2-1～6-2-3）

古市幹事長より、平成21・22年度複合構造委員会および幹事会の体制と作業分担について説明があった。

- ・委員会および幹事会のスケジュール案には、選挙関連を付記した。
- ・委員会組織図を更新した。示方書関係の委員会は、講習会の終了後に見直すこととする。
- ・作業分担案が示され、論文賞選考委員会は、西崎幹事が対応することが確認された。また、小委員会との連絡幹事を決める必要がある。

(4) 平成21・22年度複合構造委員会・委員会の構成について（資料 幹6-3）

古市幹事長より、平成21・22年度複合構造委員会の構成について説明があった。

- ・新委員は2名であり、6月の委員会で自己紹介をお願いする。
- ・小林（洋）委員の後任については、田中幹事より適任者に声をかけてみることとなった。

(5) 平成21年度の会計報告と平成22年度委員会予算（案）（資料 幹6-4-1～6-4-5）

古市幹事長より、平成21年度の会計報告と平成22年度の委員会予算（案）について説明があった。

- ・平成21年度の会計報告については、6月の委員会で報告される。
- ・平成22年度の委員会予算には、昨年の利益の75%が還付されている。
- ・第1種小委員会と第2種小委員会の予算配分に差をつけることとした。
- ・（H101）複合構造標準示方書小委員会および（H002）国際連携小委員会の予算には、田中幹事の海外渡航費を含む。
- ・予備費のH203小委員会に関係した書籍買取り分については、必要ないとのことから配分を行わないこととした。
- ・H205小委員会に関係して、委員会内報告書としてまとめるための印刷費を予備費に割り当てた。

(6) 平成21年度の活動報告の確認（資料 幹6-5-1～6-5-4）

古市幹事長より、平成21年度の活動報告を提出したこと、また、平成21年度の委員会の評価について説明があった。

- ・平成21年度の委員会の評価はBであったが、評価項目Ⅱ（活動収益額）については、基準を達成できる可能性が高いことがわかった。
- ・平成20年度および平成22年度の活動状況を分析し、今後は評価項目Ⅱで基準をクリアできるように戦略的に活動していきたい。（例えば、講習会費の見直しや、書籍代を講習会費に含めるなど。）

(7) 平成22年度年次学術講演会について（資料 幹6-6-1, 6-6-2）

古市幹事長より、土木学会年次学術講演会への対応について説明があった。

研究討論会について

- ・ 本間幹事の協力により、「新形式複合構造物のその後」として申請した。
- ・ 話題提供者のうち、三浦顧問については、顧問という立場のため辞退された。

共通セッションについて

- ・ 共通セッションの講演および座長の割り振り案が示された。
- ・ 今年度は、1 部門と 5 部門の複合構造に関するキーワードを共通セッションに集約したため、複合構造に関する講演を全て共通セッションに集めることができた。

(8) 出版物の査読方法について（資料 幹 6-7）

古市幹事長より、昨年度、出版物の査読において小委員会とのやりとりに不備があったことを踏まえ、出版物の査読方法案を作成したことについて説明があった。

- ・ 3 名の査読（通読）結果を幹事会で取りまとめた後、小委員会に報告することを徹底する。
- ・ 出版物については、途中経過のものではなく、最終版を査読（通読）するようにする。
- ・ 査読（通読）者は、「成果の公表に関する申し合わせ」に基づき査読（通読）する。
- ・ 査読方法案については、申し合わせの運用方法を規定する内容となるように、修正することとなった。

(9) 出版関係（資料 幹 6-8）

古市幹事長より、出版物の状況について説明があった。

- ・ 複合構造物の基礎理論については、第 1 種小委員会の成果物であることから、「複合構造レポート」ではなく「複合構造シリーズ」として出版するかについて、今後検討が必要である。
- ・ 複合構造レポート 04 の発行部数は、結局 500 部となった。
- ・ 廃盤となった、英文版性能照査指針（複合構造シリーズ 04）については、200 部近い残部の引き取り先を検討する必要がある。なお、田中幹事に国際会議での配布をお願いした。

(10) 小委員会関連報告と審議事項（資料 幹 6-9-0～6-9-8）

古市幹事長より、小委員会一覧が示され、昨年度で活動が終了した委員会については、6 月の委員会にて終了報告を行ってもらうことが確認された。

複合構造標準示方書小委員会（H101）

田中幹事より、小委員会の活動状況について説明があった。

- ・ 示方書について初めて質問があり、その回答案が準備されていることについて説明があった。
- ・ 国際会議・第 5 回 CECAR にて、田中幹事が発表予定であることが報告された。
- ・ 9 月に西部支部主催で講習会を開催することを検討中であり、現時点で採算がとれる状況にないが、開催を前向きに検討していくとの説明があった。
- ・ 示方書英文版作成について、小委員会内のアンケート調査の状況について説明があり、総論では賛成であるが、実施は難しい状況であることが報告された。今後も検討を続けていくとのこと。

維持管理小委員会（H203）

溝江幹事より、「複合構造レポート 04」が発刊され、5 月 20 日に札幌で講習会が開催されることが報告された。秋に東京での講習会開催を検討中である。

FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会（H102）

西崎幹事より、小委員会の活動状況が報告され、5 月～6 月で小委員会案を取りまとめる予定であ

るとの説明があった。なお、小委員会では、出版物のタイトルを「ガイドライン」ではなく、「FRP 歩道橋設計・施工指針（案）」とする予定であるとの説明があった。

複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会（H103）

山口幹事より、小委員会の活動状況について説明があった。

複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会（H206）

渡辺幹事より、小委員会の活動状況について説明があった。

樹脂材料による複合技術研究小委員会（H207）

古市幹事長より、大垣幹事作成の資料に基づき、小委員会の活動状況が紹介された。

FRP 複合構造研究小委員会（H208）

西崎幹事より、委員の公募が終了し、現在 17 名のメンバーとなったことが報告された。第 1 回の委員会は、6 月 29 日開催するとのこと。

FRP によるコンクリート構造の補強設計研究小委員会（H209）

溝江幹事より、委員の公募が終了し、現在メンバーが 10 名であり、更に委員の追加を検討中であることが報告された。なお、連絡幹事については、山口幹事が前向きに検討することとなった。

複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会（H210）

溝江幹事より、現在、委員を公募中であることが報告された。

(11) 第 3 回委員会について（資料 幹 6-10）

古市幹事長より、作成中である平成 21・22 年度第 3 回複合構造委員会の式次第が紹介された。

(12) その他（資料 幹 6-11-1-1～6-11-3）

土木学会論文集再編について

新体制が 6 月から始まり、来年 1 月より新しい電子投稿システムに移行する。

土木学会旅費の取り扱いについて

- ・ 旅費規程が変更となり、実費支給となったため、領収証等の証書を提出する必要がある旨、注意があった。
- ・ これに伴い、3 月の幹事会開催方法について検討する必要がある。

第 3 回委員会

- ・ 開催日時：平成 22 年 6 月 16 日（水）14:00～
- ・ 開催場所：土木学会講堂

第 7 回幹事会

- ・ 開催日時：平成 22 年 7 月予定
- ・ 開催場所：土木学会予定

以上（記録・文責 斉藤）